

もりのにぎわい通信

2013年9月28日 定例活動報告

日時：2013年9月28日（土）9：00～11：30（定例活動）、13：00～17：00（自然観察会）

場所：小山町 観音地

天候：曇 気温 20～23℃ 湿度 50% 風向 東北東 風速 4m

定例会参加者：33人：子供4人、大人29人（小山町・土地改良区8人）

あすみが丘国際交流機構からの参加者：13人

■ 活動

<定例活動>

9：00 集合
9：15 除草作業開始
10：00 休憩
10：15 作業再開
11：30 解散

<自然観察会>

13：00 横田先生による講習
植物の種の知恵
14：00 アルソミトラの飛行を味わう
14：30 カシワバハグマの観察
15：30 片付け
16：00 移動・村田川の生物観察
解散

■ 活動報告

8月は暑すぎるので、定例を毎年休みにしています。2か月ぶりになるわけですが、何と、雑草だらけ、ここまで雑草に埋もれるのかという状態です。ひと月でこれですから、アンコールワットなどがジャングルに呑まれるという言葉が実感できます。

土地改良区の皆さんと一緒に除草作業を延々に行いました。進入路と駐車場、散策路、ツリーハウス周辺が少しは綺麗になりました。特にスギの植林エリアなどは、散策路から奥に入っていくほどの雑草の壁になっています。こんな時には刈払機という機械の有難味を本当に感じます。勿論それを動かしているガソリンも必要で、農業という文明でさえ化石燃料に依存しているのを思い知らされます。もちろん、人力は必須です。苗木の近くのクズの蔓を切る、苗木を斬らないように支柱を立てるなどはキッチリやらないと苗木を刈払機で切ってしまいます。苗木をうまく育てるには、生えている苗木を切らない工夫の方がより重要なことです。それにクズの蔓は刈払機では実に切りづらくて作業効率を落とします。人と機械の共同作業が重要です。

11時を回った頃にはあすみが丘国際交流推進機構のメンバー13名が「あすみが丘郊外の谷津田散策と自然復元状況を知る」というテーマで秋の散策コースに小山観音地も見学することにしたそうです。産廃処分場にされかけた経緯や、その後の植林や土壌改良の苦労話、子供達を交えた自然観察や楽しい活動の話を見せてもらいました。

午後からは県環境学習アドバイザーの横田先生に登場いただき、秋にふさわしく植物の種の移動の知恵を教えてくださいました。繁殖のために少しでも親樹から離れたところへ種を運ぶ工夫が施されています。

1. ヒッチハイク・タイプ 人間や他の動物へばりついて運んでもらうタイプ、子供たちが投げ合って遊んでいたオナモミ。チカラシバ、アメリカゼンブグサ等。
2. 風で運ぶタイプ ススキやセイタカアワダチソウ、モミジなどです。
3. 水で運ぶタイプ ジュズダマなど
4. 自分の重みでコロコロとタイプ クヌギ、コナラ、シラカシ等。
5. 鳥さんお願いタイプ 鳥などに食べられて運ばれ、その糞から発芽するというトウネズミモチ、ピラカンサ等
6. 自分のプロペラでタイプ イロハモミジ、アカシデ等

この分類シートを配られて、各自で現地に生えている植物の種を採取してシートにセロテープで30分以内にできるだけ多く貼ろうという課題が出ました。老いも若きも一緒になってドングリやらセイタカアワダチソウやらを貼り付けていました。

次に風で飛ばすタイプのアルソミトラの種の飛行を模型で実体験させてもらいました。アルソミトラはインドネシアや東南アジア・オーストラリアに現生するウリ科の蔓植物だそうです。この風に乗って飛ばす実が一斉にザーと飛ぶそうです。壮観でしょうね。発砲スチロールで作った羽に重りをつけたものですが本物そっくりですね。これを坂の上から国際交流の方々も混じってみんなでトライしました。風と投げ具合で微妙に変化します。うまくいくと本当にスイスイ、スイーと長い距離を飛びます。投げては羽を拾いに行き、フーフーいいながら坂を上ります。子供達はアルソミトラを追いかけて、それこそ駆け下り・駆け上っていましたが、楽しくて頑張ったのは子供達だけではありませんでした。

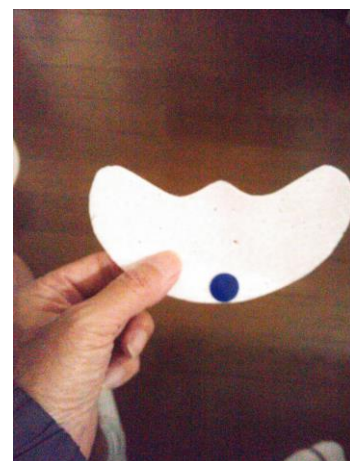
アルソミトラ



アルソミトラの種（本物）



模型



最後に村田川の生物観察として魚やカニを魚捕獲用網カゴで上げたものを観察する計画を立てていました。この企画は魚が採れないことには話にならないので、3日前に20尾以上かかっているのを確認してあったのに、夕方に行って網カゴをあげてみると中にはザリガニが2匹だけ。何ということでしょうか、おそらく盗まれたのでしょうか。残念ですが村田川の生物教室は成立しませんでした。でも植物教室は十分楽しいものでしたし、アルソミトラの模型は本当に子供と一緒に坂を登り降りしました。村田川の生物教室は次回以降のお楽しみにとっておくことにします。

(記録：金井章男)

■ 森もりあそび隊

池の泥あげ作業

池は赤土を塗って田んぼの土を上から塗る整備をしてからしばらく手入れがされていなかったため池の脇の土が底に流れ本来深いはずの場所も浅い状態になっていました。

池の生き物たちは元気で、メダカが群れで泳ぎ、水連が元気にそだっていました。まずは泥あげしやすいようにまわりの雑草をカマでとる作業を行いました。池の周りにはたくさんのバツタが飛び

そのごちそうを狙ってニホンアカガエルがみられました。池の栈橋?にはカナヘビが日向ぼっこをしていてそのカナヘビのしっぽの長さにみな驚き、まるでしっぽで釣りでもするのは・・・なんて想像してしまうほどでした。ようやく泥あげ作業・・・池の底に人が入らなければできない作業なので作業しやすいように田植え用のひざ下までの長さであり首をしっかりゴムひもで止めるタイプの長靴を装着。おたまのような形の鋤簾（じょれん）という耕具を使って土で埋まっている中央部分から泥をすくっていきました。深い泥に足がとられてなかなか思うように動けず（ぬげにくい長靴の素晴らしさを体感）、底も泥でよく見えず、手探りで泥をすくい、赤土がでてきたらその場所は終わりにするという形でなんとか元の深さに近い?（見た目にはよくわからない感じ）状態にできたのでは・・・また定期的にやる必要がありそうです。

作業中遠くの方からイガイガ爆弾が飛んできて痛いと思ってよく見ると、上着にオナモミが・・・。男子二人が今年初めて大きく育ったオナモミの種を投げやすいように観察用ケースに大量に入れてつぎつぎと投げてきていました。

午後からの種の旅という観察会ででてくる種の一つで動物の毛にくっついて種を運んでもらうオナモミ。すぐに試せる場所は人間の洋服・・・こっそり投げてくっついた時の気持ちよさはたまりません。一度お試しあれ。いつの時代でも子どもは種の旅に一役かっているのではないかと思います。

今度フェルトでダーツ盤を作って遊ぶと面白いかもしれません。

森のめぐみ

夏を越えて小山の森の木々たちはぐんと大きくなり、大人が見上げる木が多くなってきました。今まで収穫できなかった栗が今年はいくつか実り、虫に食べられていないものをとのことで木についている実が少し割れそうな少し青いものを約10個ほど収穫しました。私自身収穫をしたことがなかったので落ちていた茶色いものしか食べられないのかと思っていましたが、イガをむいて中を見ると栗の実は茶色いになっているものと薄茶のものといろいろでしたが、持ち帰ってゆでること15分・・・

半分に割ってスプーンですくって食べるとあまくておいしい秋の味覚。虫もついていなかったの、持ち帰ったもの3個すべておいしくいただくことができました。

毎年恒例のサツマイモ掘りもおこないました。霜がおりてしまうと傷んでしまうとのことで少し早い時期の収穫ではありましたがしっかり大きく育てているものとほっそりしているものいろいろでした。

毎年一種類の植物でおおわれるのですが・・・今年はイヌシデのピンク畑になっていました。

そのイヌシデとサツマイモのつるを切りながら芋ほりを進めていると、“あ！そこ！”との声。

足元をよくみると小さめのカラフルなヘビが私の両足の間をヌルヌルうごいていました。足がすくんでじっとしているとヘビの方もびっくりといった感じで、茂みの中にスルスルと入っていきました。怖さもありましたがあまりの模様のきれいさに少し見とれてしまいました。あとで調べると日本で一番おい毒蛇のヤマカガシの子どもでした。奥歯に毒をもっていて深くかまされると致命傷になるそうです。踏んづけて怒らせなくてよかったという気持ちと、草むらに入るときは用心が必要だと痛感しました。急きょ芋ほりは次回に・・・

*観察中にJさんが見つけた体長9cmぐらいの大きなウマオイだね～とはなしていた虫の正体は・・・クツワムシのメスでした。おなかも大きかったから・・・これから卵を産むのかな～

(記録：和田 みさ子)



集合写真



赤土粘土の山で・・・



斜面の除草作業



池の泥上げ



ジョレンを使って池の整備



あすみが丘国際交流のみなさんに復元の経緯を説明





農業については、山中さんをお願いして・・・。



活動地案内



散策路にも草が生い茂



ツリーハウスからの眺めはいかがですか？



「種の旅」いのちをつなぐ工夫とは？



横田先生から説明を聞く



植物採取



アルソミトラの模型



参加者全員でアルソミトラの模型を飛ばす



風に乗って それ一行け！



サツマイモ掘り



大きなサツマイモあったよ！



横田先生が大好きです。



大小様々なサツマイモ



しっぽの長〜いカナヘビ



初めて収穫したクリ



大きなツツワムシのメス



クリが実りました。

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、10月26日(土)予定です。午前中は、除草作業。午後は、サツマイモ掘りと菜の花とそら豆の種を蒔く予定です。また、お昼は、収穫祭で実りの秋を楽しみましょう。